

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

	警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

気をつけていただく内容です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

警告	
	接地端子を利用して、アース接続を必ず行ってください。感電の原因になります。
	十分な強度のある壁面に確実に固定してください。落下・けが・故障の原因になります。
	電気工事(取付、施工)は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。

注意															
<p>本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。</p> <p>本製品を固定していない状態で扉を開けないでください。扉の重みで本製品が転倒し、けがや故障の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>タテ置き時の前倒れ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ヨコ置き時の横転</p> </div> </div>	<p>使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正、推奨締付トルクにて締め付けてください。締付けが不十分な場合、破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮光板取付タッピンねじM6×14</td> <td>2.9~4.4</td> </tr> <tr> <td>±3点セムス六角アースボルトM8×12</td> <td>5.5~7.0^{※2}</td> </tr> <tr> <td>フランジナットM8</td> <td>7.8~13.7</td> </tr> <tr> <td>扉溶接ボルトM5×10取付用六角ナットM5(お客様ご用意品)</td> <td>2.0~2.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>推奨締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂ルーバー</td> <td>5.0~6.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ただし、タッピンねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。 ※2 ドライバー以外の工具で締付けるねじは 8.0 ~ 13.0N・m</p> <p>設置の際は、遮光板固定部を必ず増締めしてください。締付けが不十分な場合、遮光板の脱落などによりけがのおそれがあります。</p> <p>強風を受ける場所、振動がある場所で使用する場合は、別途ゆるみ止め対策を施してください。 破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m ^{※1}	遮光板取付タッピンねじM6×14	2.9~4.4	±3点セムス六角アースボルトM8×12	5.5~7.0 ^{※2}	フランジナットM8	7.8~13.7	扉溶接ボルトM5×10取付用六角ナットM5(お客様ご用意品)	2.0~2.5		推奨締付トルク N・m	樹脂ルーバー	5.0~6.0
ねじの呼び	適正締付トルク N・m ^{※1}														
遮光板取付タッピンねじM6×14	2.9~4.4														
±3点セムス六角アースボルトM8×12	5.5~7.0 ^{※2}														
フランジナットM8	7.8~13.7														
扉溶接ボルトM5×10取付用六角ナットM5(お客様ご用意品)	2.0~2.5														
	推奨締付トルク N・m														
樹脂ルーバー	5.0~6.0														
	遮光板への過剰な荷重は避けてください。変形するおそれがあります。														

■使用上のご注意

⚠ 警告

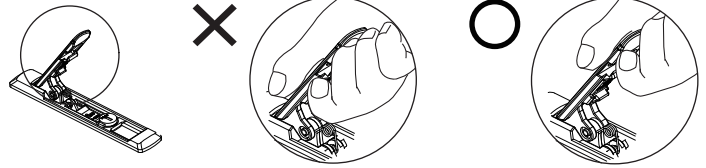


長期間の使用で取付部(ねじ、ナット)などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増締めをしてください。破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

⚠ 注意



ハンドルを開める際は、根元まで指を入れないでください。指を挟みけがの原因になります。



扉を勢よく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。

次のような場所では使用しないでください。故障・けがの原因になります。

- ・高温、高湿となる場所
- ・可燃性ガスのある場所
- ・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所
- ・腐食性ガスのある場所
- ・塵埃やオイルミストが多い場所
- ・有機溶剤のかかる場所
- ・振動、衝撃のある場所
- ・ノイズ(電界、磁界)の強い場所
- ・塩分を多く含んだ場所



ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キーの変形・破損の原因になります。

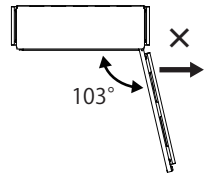
シリンダーの施錠位置あるいは解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。キャビネット、遮光板が変形し、落下・けがの原因になります。

強風下では扉を開けた状態で作業を行わないでください。強風にあおられ、扉・遮光板の変形・破損の原因になります。



扉の開閉角度は約 103°です。扉を開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。蝶番部および扉の変形・破損の原因になります。

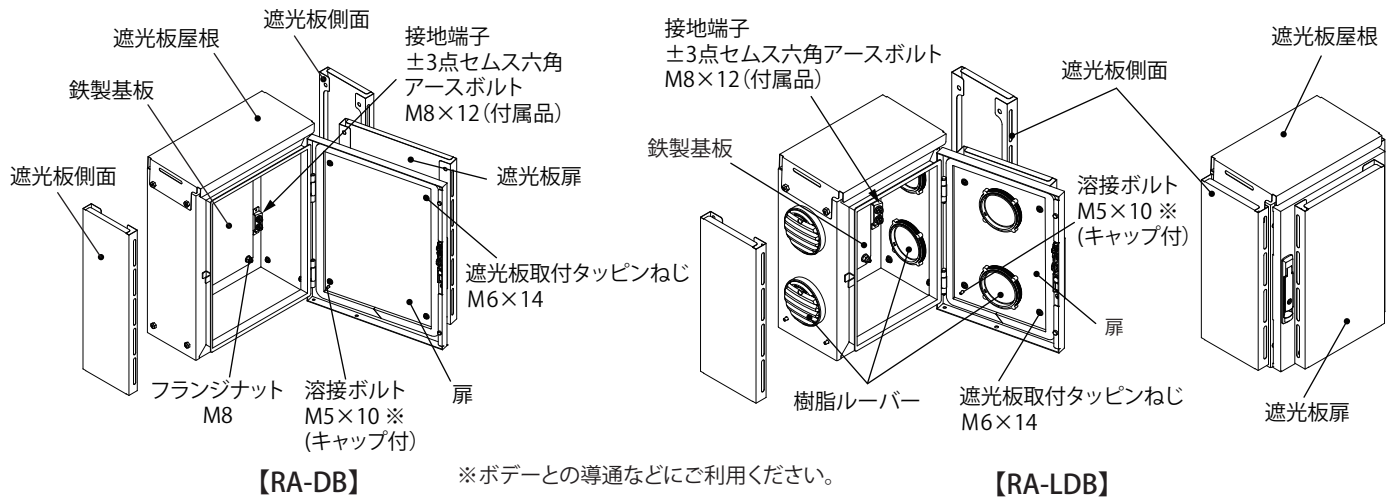


ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

鉄製基板の汚れやケガキ線拭き取りのご注意

- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、やわらかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、目立たない場所で塗装面が傷まないことを確認してください。アルコールやベンジンなどの溶剤をご使用になると、塗装面が傷むおそれがあります。

■各部の名称・仕様



【RA-DB】

※ボデーとの導通などにご利用ください。

【RA-LDB】

RA-DB 屋外用：IP54 (カテゴリー-2)
RA-LDB 屋外用：IP44

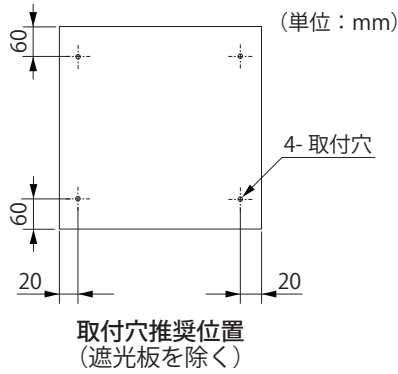
●付属品

塗装色	クリーム塗装 (2.5Y9/1)
材質	鉄
取付基板	鉄製基板 (2.3mm) クリーム塗装 (2.5Y8/2)
キャビネット板厚	扉1.6mm ボデー1.6mm 遮光板0.8mm
ハンドル	アウトサイド平面ハンドル
扉形式	片扉

部品名	数量
キー (キーNo.N200)	1コ
±3点セムス六角アースボルト M8×12	2コ
取扱説明書 (本紙)	1部

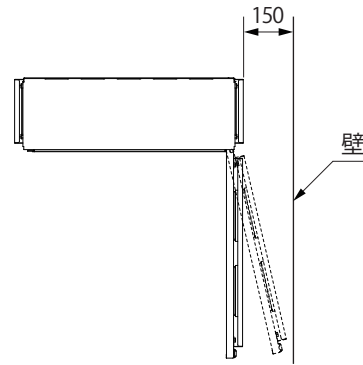
■取付方法

- ・キャビネットを設置する際は、ボデー背面に穴加工した後に取り付けてください。



- ・壁際に設置する際は、壁面から 150mm 以上離して取り付けてください。

(単位：mm)



■遮光板の取外方法

ご注意 取外しの際は、遮光板が落下しないように手で支えてください。

●遮光板側面・屋根

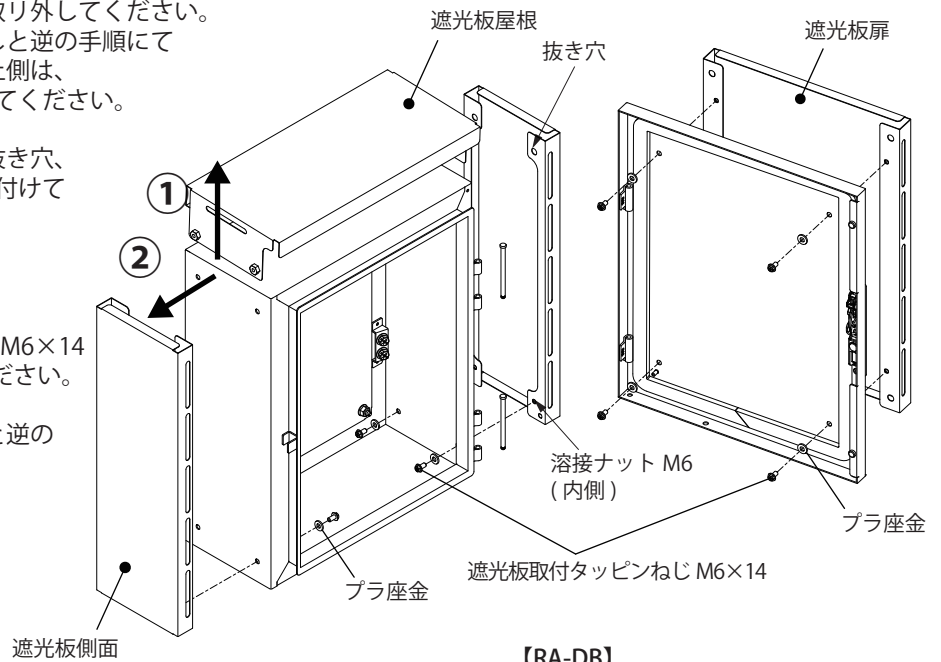
1. ボデー内側より遮光板取付タッピンねじ M6×14 (左右 8 か所) と プラ座金を取り外してください。
2. 遮光板屋根①、遮光板側面②の順に取り外してください。
3. 再び遮光板を取り付ける際は、取外しと逆の手順にて取り付けてください。遮光板側面の上側は、遮光板屋根で挟み込んで共締めをしてください。

ご注意

遮光板側面を取付けの際は、上側が抜き穴、下側が溶接ナットになるように取り付けてください。

●遮光板扉

1. 扉内側より遮光板取付タッピンねじ M6×14 (4 か所) と プラ座金を取り外してください。
2. 遮光板扉を取り外してください。
3. 再び遮光板を取付ける際は、取外しと逆の手順にて取り付けてください。



【RA-DB】

⚠ 注意

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正、推奨締付トルクにて締め付けてください。締付けが不十分な場合、破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m※
遮光板取付タッピンねじ M6×14	2.9~4.4
樹脂ルーバー	推奨締付トルク N・m
	5.0~6.0

※ただし、タッピンねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

設置の際は、遮光板固定部を必ず増締めしてください。締付けが不十分な場合、遮光板の脱落などによりけがのおそれがあります。

強風を受ける場所、振動がある場所で使用する場合は、別途ゆるみ止め対策を施してください。破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は2019年8月現在のものです。

B862600924
SK-119B